The Google logo is displayed in its characteristic multi-colored font: 'G' is blue, the first 'o' is red, the second 'o' is yellow, 'g' is blue, 'l' is green, and 'e' is red.

SEO 対策無料レポート

発行責任者：安田隆広

# 重要

あなたは、この特別レポートを無料で配布することができます。ホームページ上にダウンロードリンクを設置する、あるいはメールをくれた人に添付ファイルで送信するなど、自由に行っていただいてもかまいません。

例えばあなたがメールマガジンを発行している場合、「今メールマガジンに登録してくれた方には、無料レポートを進呈します！」という具合に読者獲得に使用する、「メールをくれた方には、無料レポートを差し上げます！」として、リスト構築に使用する、など使い方はいろいろとあります。

内容のコピー、改変は禁じますが、上記のようにこのPDFファイルそのものを配布することは自由です。この無料配布につき、著作権者の安田隆広に対し許可等を取る必要はありません。

アフィリエイトパーフェクトマニュアル

<http://www.afr8.jp/manual.html>

はじめまして、SEM対策コンサルタントの安田と申します。

私がネットビジネスをはじめたのは、2003年の5月です。当時、私が手につけたのはアフィリエイトという広告収入型のビジネスです。しかしその成果はそれはひどいもので、全く稼ぐことができませんでした。

当時の私はインターネットについては全くのド素人で、ろくにアクセスアップの方法も知りませんでしたから当然の結果です。

なにしろ、ホームページというものは、作ったら誰かが見に来てくれるものだと思い込んでいたくらいですから始末に終えません。全くお恥ずかしい限りです。

**お金を稼ごうと思ったら、それなりのノウハウというものがが必要です。**

ラーメン屋さんをやる人は「いかにしてうまいラーメンを作るか？」というノウハウを学びます。古本屋さんをやろうと思う人は、「いかにして高く売れる本を安く買取るか」という目利きのノウハウを学びます。

ネットビジネスも同じです。何も知らずに、いきなり大成功するはずありません。

**ネットビジネスで稼ぐには、何よりもまず、ホームページに訪問者が来る仕組みを作らなくてはならないのです。**

現実の店舗でも、「いかにしてお店に人を呼んでくるか？」ということを研究しますよね？

それと同じことです。

それに気づいた当時の私は、自分に決定的に足りないもの・・・「アクセスを集めるノウハウ」に気づき、本格的にノウハウを学べはじめました。

最初に、本屋さんに並んでいる本を読んで勉強しました。しかし、さすがに1500円の本です。

**1500円の本には1500円の内容しか書かれていません。**

結局、本当に知りたいところは伏せられていて、肝心なところがわからないようになっていきます。

そこで、私は師匠を見つけることにしました。

実際にネットビジネスで数百万、数千万を稼いでいる方に弟子入りして、その人の**生きたノウハウ**というものを吸収してやろうと企んだわけです。

この「成功者の真似をしてやろう」という単純な作戦は見事に功を奏しました。

数十万円するセミナーに参加し、徹底的にノウハウを学びました。

さすがに、市販の書籍で書かれていることなどは、根本的に質が違います。

結果、状況は一変しました。

それまでは毎日毎日、メールマガジンやらサイトの更新やらにフラフラになってがんばっていても全くアクセスが取れなかったのが、いまでは寝ている間にもどんどん訪問者が来るようになっているのです。

広告収入では不労所得状態を獲得し、自ら運営するネットショップも大繁盛。コンサルタント業も完全に軌道に乗りました。

その後、師から教わったことに独自の「ヒネリ」を加え、さらにノウハウを研ぎ澄ませていき、今日、SEMコンサルタントとして独自のノウハウを持つに至ったのです。

私に、このたった1年ほどで起こったこと。

それは……

毎日フラフラになりながらメールマガジンを発行して、月間数百アクセス

↓                    ↓                    ↓

**何もしなくても、月間アクセスが十万**

という事実。

なぜ、このような非常識なことが起こったのか？

このレポートでは、その秘密を余すことなくお伝えしていきます。

## 【はじめに】

ネットショップ、情報起業、アフィリエイト……いかなる業種も避けられない、「アクセスアップ対策」。

しかし、どうやったら、効果的にアクセスが上がるのでしょうか？

ここに、全ての解決策があります。それが、「検索エンジン上位表示」です。

検索エンジン対策をしっかりとっておけば、はじめからあなたのサイトに興味を持って  
いる人が次から次へと検索エンジン経由で訪問してくれます。

この検索エンジン経由のアクセスは他の手段によるアクセスアップとは根本的に質が  
違います。

他のアクセスアップの方法では、たいていの訪問者は「たまたま広告に興味があっ  
て」サイトを訪れますが、検索エンジン経由のアクセスというのは、そのキーワードの  
テーマに**初めから興味がある人が来る**わけですから、同じアクセスでも検索エンジン  
経由のものの方が遥かに価値が高いのです。

検索エンジンは日々、数え切れないくらいの人が使っていますから、上手にやれば凄  
まじい数のアクセスを得られます。数も質も優れたアクセス集積方法、それがSEOな  
のです。

SEOはネットを使うあらゆるビジネスに有効です。

例えば、SEOを使った最も単純、簡単なビジネスモデルが「アドセンス」の利用です。

アドセンスは、サイト内に自動配信広告を出現させる仕組みで、クリックがされただけ  
でサイト管理者に報酬が支払われます。サイトを作ってアドセンスコードを貼り付けれ  
ば作業は終わりです。あとは何もする必要はありません。

サイトに訪問者が訪れ、広告をプチプチクリックしてくれる、そうすると収入になります。  
この収入は、ほぼ途切れることなく、ウェブマスターであるあなたにもたらされます。

もちろん、SEOが活躍するのはアドセンスだけに限りません。およそ、インターネットでビジネスをする者にとって、優良見込み客がタダで獲得できるSEOは最大級の戦力になります。

それでは、Google のSEO対策を学んでいきましょう。

## Google 対策

Google 対策は、SEOの基礎となります。ここで学んだことが Yahoo!対策に生きてきますから、メインディッシュが Yahoo!だという方もしっかり学習してください。

まず、最初に検索エンジンの仕組みについて解説します。Google などの検索エンジンが、どのようにして検索順位を決定しているのかを知りましょう。

インターネット上には、「スパイダー」と呼ばれる、Google の作ったプログラムが常に巡回活動をしています。そしてスパイダーが巡回したホームページのデータをかたっぱしから、Google のコンピュータに保存していきます。

Google は、検索者が Google の検索窓で検索をかけると、その保存しているWebページ(サイト単位ではなく、ページ単位)の一覧を解析します。

その際に、そのページに検索者が検索をかけたキーワードがどのくらい含まれているか、外部からのリンク数、リンクの質はどのくらいか、などを解析して、表示順位を決定し、表示します。

これは、Yahoo!や MSN なども同じ方式をとっています。

ということは、Google で上位表示を果たすには、Google が行っている解析の課程を研究すればよいこととなります。

そこで、数々の検証実験から明らかになっている、Google が「どのようなWebページを上位に持ってくるのか」について解説しましょう。

## 事前準備

まずは準備です。以下のツールを入手してください。

### キーワードアドバイスツール

お気に入りに登録しておきましょう。ブラウザ上で使用するツールです。かなり頻繁に使います。特定のキーワードの Yahoo!での検索回数を調査することができます。

<http://inventory.overture.com/d/searchinventory/suggestion/?mkt=jp>

### Google ツールバー

これも必需品です。ページランクという、Google がつけているWebページの価値を測定するツールです。ページランクの説明も書かれておりますので、読んでおいてください。

<http://toolbar.google.com/intl/ja/>

### ドメイン取得

<http://www.〇〇.jp> というURLがあるとしましょう。

この「〇〇」の部分を、ドメインといいます。DIONやOCNなどのプロバイダでホームページを作っていると、このドメイン部分がプロバイダのドメインになっていますが、有料のホームページスペースレンタルサーバーを使っていると、このドメインを独自のものに変えられるんですね。

これを独自ドメインといいます。

ホームページは、ジオシティーズやFC2などの無料サイトを利用しても作れますが、SEOを意識するのであれば、絶対に独自ドメインは必要です。

## Google 対策SEO その0 勝てるキーワード

SEOは、キーワードという椅子の奪い合いです。

あなたがいいキーワードを取りたいと思っているように、世の中に星の数ほどいるライバルたちも、いいキーワードを取りたいと思っているのです。

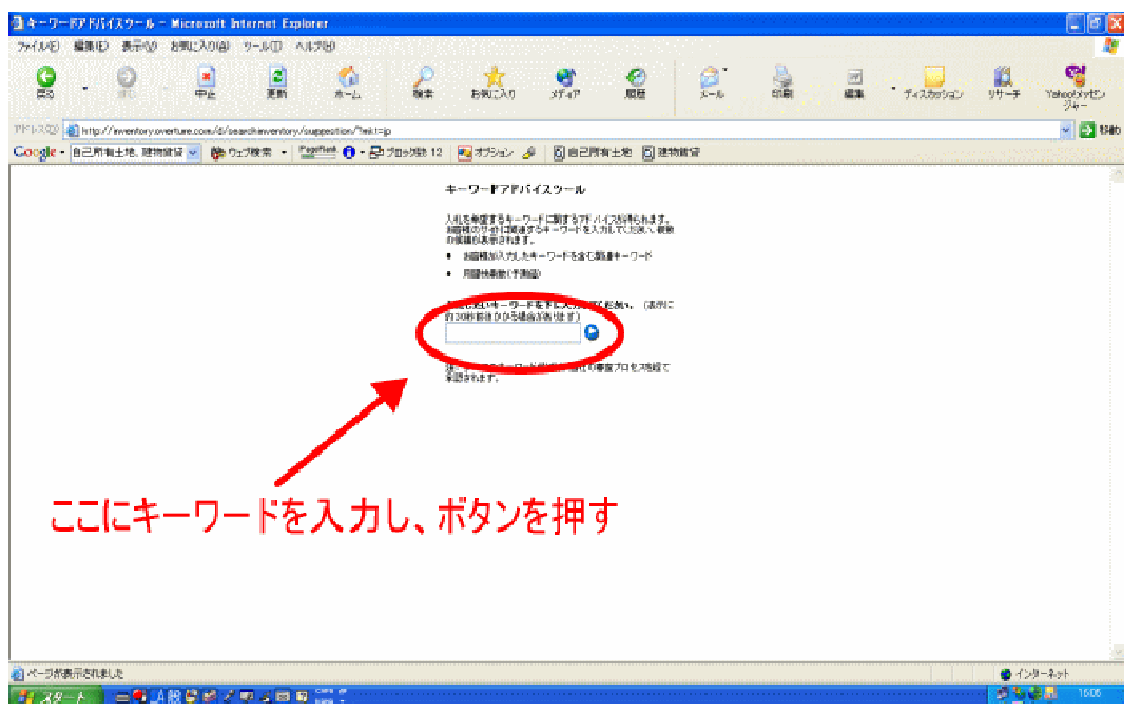
そういったライバル達に、「勝てる」かどうか。これを調査するのが、SEOの第一歩です。

ということで、**勝てるキーワードを抽出**していきましょう。

まずは、キーワードの検索回数調査に入ります。

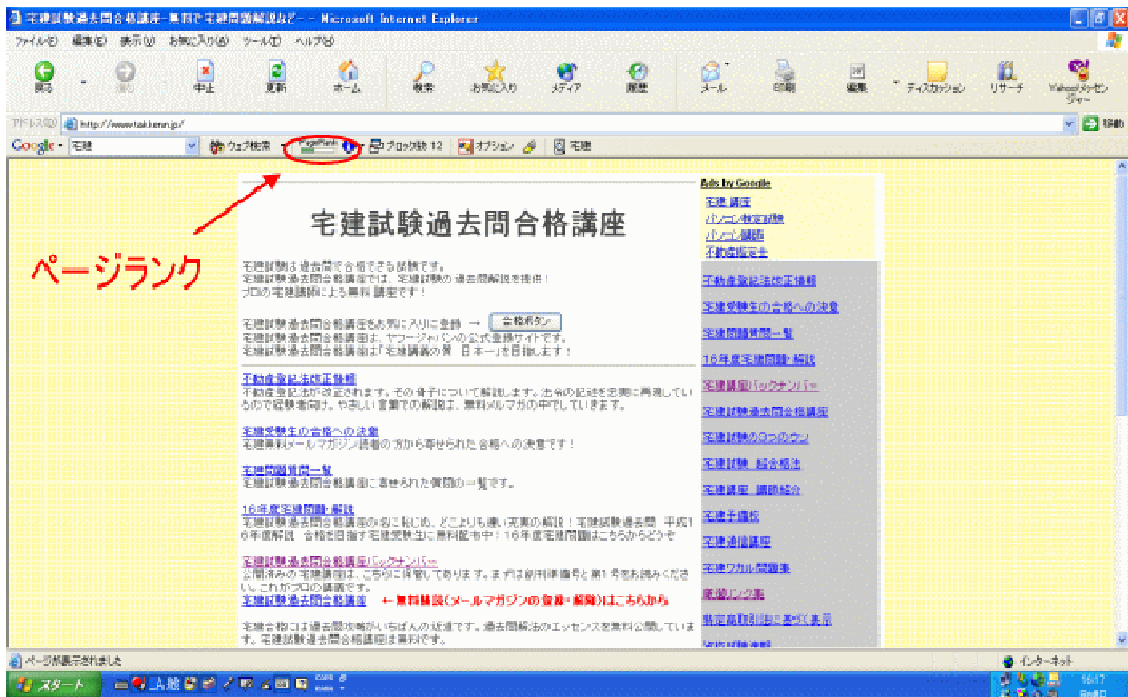
当然のことですが、月間 100 回しか検索されないキーワードでSEOをかけるよりも、1000回検索されるキーワードでSEOをかけたほうがアクセス数が増えるからです。

では、どのキーワードの検索回数が多いのか？キーワードアドバイスツールで調べます。









ページランクは Google ツールバーをインストールすることによって、見ることができます。事前準備でインストールしておいてください。

さて、ライバルサイトを訪れたときのページランクはどうでしょう？もし、ライバルサイトのページランクが4以下であれば、勝利可能です。

ページランク5に勝つことは難しいです。ページランク6には、個人レベルでは逆立ちしてもかないません。もし、上位10位がページランク5以上で占拠されていたら、そのキーワードは諦めた方がいいでしょう。

**ここを見極めないと検索エンジン対策は失敗します。**

勝利可能なことを確認したら、そのキーワードでのサイト作りをしていきます。

もし単一キーワードではライバルが多すぎて、競争に勝つのは非常に難しい場合、「2キーワード」で勝負をしていきましょう。

これはどういうことかという、「化粧品」という単独キーワードだとライバルが多すぎるので少し絞って「化粧品 サンプル」などにキーワードを絞っていく、ということです。このように絞り込んで検索をかけると、ライバルの数が急激に減ります。

キーワードを絞りこんだら、再度ライバル調査をしていきます。勝てそうなキーワードを見つけるまでこの作業を繰り返します。

この調査というのは非常に重要です。検索回数が少ない貧弱キーワードでは、上位表示をかけても全く意味はありません。かといって、ライバルが強すぎてとてもじゃないけど勝てないキーワードで勝負をしても勝てません。

**十分な検索回数があり、ライバルが弱いキーワード**を見つけてください。

## Google 対策SEO その1 キーワードマッチ

では、実際にSEO作業に入って行きましょう。SEO作業というたいそうなものに聞こえるかもしれませんが、実際にはやるべきことはたったのふたつです。

このふたつは極めて重要なことですので、今、この場で頭に叩き込んでください。

**Google は、「キーワードマッチ」と「リンクポピュラリティ」で、検索順位を決めます。**

リンクポピュラリティについては後で解説しますので、キーワードマッチから入っていきます。

キーワードマッチとは、ページ内のHTML・使用文字を、狙いのキーワードに調整することです。

これは技術的なことですから、ちょっとやり方を勉強すればすぐできるようになります。

キーワードマッチをするには、HTMLを理解することが絶対要素になります。これが全くわからないでは、SEOはできません。

そして、SEOが出来ないという場合、少なくともネットビジネスで稼ぐには広告費を捻出することが不可欠です。ですから、手間を惜しまずHTMLの勉強をしていきましょう。

ちなみにHTMLは、全く白紙の状態から「何も見ないで書ける」というレベルまで持っていく必要は全くありません。「書けないけど、**見たらだいたいのがわかる**」というレベルでOKです。

SEOをするのに、そんなに細かい知識は要りませんので。

では、まずはHTMLについての基礎的な内容をいくつか解説します。

私たち日本人は、日本語を使って意思の疎通をはかります。「りんごはおいしい」ということを伝えたいければ、「りんごはおいしい」と口でしゃべるか、あるいは紙に書けばいいだけのことです。

しかし、コンピュータに向かって

「ホームページに“りんごはおいしい”という文章を出せ！！」

といくら言葉で話しても通じません。

コンピュータに「りんごはおいしい」と表示させるには、プログラムというコンピュータにもわかる言葉で命令を与えなければならないのです。

このプログラム、すなわち「コンピュータにもわかる言葉」にはさまざまなものがあるのですが、「ホームページに文章を表示させたり画像を表示させたりするための命令ことば」のことを「HTML」というのです。

## ■ メタタグの最適化

HTML表記には細かいルールがありますが、まずは最低限の原則を押さえましょう。

### 1. 最初に必ず次の文を入れる

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
```

### 2. HTMLは、<HTML>タグと</HTML>タグの間に記述する

3. <HTML>タグと</HTML>タグの間には、<HEAD>と</HEAD>の間の、ヘッダーと呼ばれる部分と、<BODY>と</BODY>の間の、本文と呼ばれる部分をつくる。

### 4. メタタグを付ける

メタタグとは、METAで始まるこれらのタグのことです。

```
<META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
```

```
<META http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
```

どんなホームページであっても、必ずこの4つの決まりを守らなければならないようになっていきます。ですから、ホームページにたった一行の文章を書くだけでも、ソースはものすごく長くなってしまいます(ソースとは、HTMLで書かれたプログラムのことです)。

ちなみに、ヘッダ部分は、例えるならホームページの名札の機能を果たします。「このホームページはこれこれこういう内容のホームページですよ～」という、要約部分なわけです。なんのために作られているかという、検索エンジンが読み込みしやすいようにするためです。

ヘッダ部分は私たちの目には見えません。目に見えるのは、あくまでも<BODY>から</BODY>部分だけです。ですから、検索エンジン上位表示対策をするとき以外は、ヘッダ部分をいじくことはまずありません。

最も単純なホームページのHTMLを例示します。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01
Transitional//EN"><HTML><HEAD>
<META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<META http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<TITLE></TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<P>テスト、試験</P>
</BODY>
</HTML>
```

このソースをメモ帳に保存し、拡張子を「.html」に変更してからサーバーにアップしアクセスすると、真っ白な画面に

テスト、試験

という文字だけが見えるはずです。

さて、HTMLの全体像の、だいたいのところはわかったでしょうか？上記例に、いろいろ文章を付け加えてみたりして、どのように変化するのか実験してみてください。

では、キーワードマッチ作業をしていきましょう。

試しに、「テスト」「試験」というキーワードでSEOを試してみます。

まずはメタタグ部分を最適化してみます。思っているよりも、ずっとかんたんです。

```

<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.0 Transitional//EN">
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>テスト,試験</TITLE> タイトル記入後、移動
<meta name="keywords" content="テスト,試験">
<meta name="description" content="テスト,試験関係のサイトです">この3行を付け
足し
<META http-equiv=Content-Type content="text/html; charset=Shift_JIS">
<META http-equiv=Content-Style-Type content=text/css>
</HEAD>
<BODY>
<P>テスト、試験</P>
</BODY>
</HTML>

```

変更した部分の色を変えてみました。はい、これでMETAタグ対策はおしまいです。こんな簡単なことで順位が変わるの？と思うかもしれませんが、こんな簡単なことで上がっちゃうんですね。ほとんどの方は、この程度すら知らないですから、やったもの勝ちです。

念のため、文章で作業手順を書いておきます。

★<TITLE></TITLE>の間に、キーワードをちりばめたサイトのタイトルを入れる。ここでは「テスト,試験」という直球タイトルにしましたが、「テスト,試験のサイトです」などでもいいと思います。**このタイトルタグが、最も重要。**

★そして、タイトルを<HEAD>の次にもってきます。

★次に、つけたし文にキーワードをちりばめ、挿入します。

メタタグ対策は、以上です。

※ちなみに、HPビルダーを使っている場合、次のようなメタタグが自動で入りますが、無視してかまいません。

```

<META name="GENERATOR" content="IBM WebSphere Studio Homepage Builder
Version 8.0.0.0 for Windows">

```

大事なことは、タイトル、追加メタタグのところに「キーワード」を入れておくことです。

また、この文について、

```
<meta name="keywords" content="テスト,試験">
```

2つ以上のキーワードを盛り込むときは、「,」で区切りましょう。盛り込むキーワードの数は、あまり多すぎるとよくないです。多くても5つくらいにしておきましょう。

多くのキーワードで上位表示を狙いたい場合は、ひとつのページにたくさんのキーワードを埋め込むのではなく、多くのページを作ってそれぞれにひとつかふたつのキーワードを盛り込むようにしてください。

それからタイトルタグ内に入れるキーワードですが、より上位表示させたいキーワードを左に持ってくるようにしましょう。

例えば上記の例でしたら、「試験」というキーワードよりも「テスト」というキーワードでより上位表示されやすくなります。テストの方が左に来ているからです。

## ■ 本文作成

HTMLは大きく分けて、<HEAD>~</HEAD>のヘッダ部分と、<BODY>~</BODY>の本文部分に分かれます。ヘッダ部分の最適化は既に学びましたので、次に本文部分、<BODY>~</BODY>の最適化についてです。<BODY>~</BODY>部分の、実際にブラウザで表示される部分に最適化をかけることを、「キーワードマッチ」といいます。

まず最も重要なことが、最初に「見出し」をつけることです。メタタグ最適化のところで、タイトルタグ内にタイトルを入れましたね？あのタイトルと同じ文字列を、最初に記載します。そしてそれを、このタグで囲みましょう。

```
<h1></h1>
```

これは、「見出し」といわれているタグです。このタグを加えると、ページの上部にやや大きな文字で「テスト、試験」と表示されます。

(例) <h1>テスト、試験</h1>

このタグは、一回しか使ってはいけません。何度も使うと、スパムフィルタが作動してしまいます。

スパミングフィルタが作動すると、スパムページとして検索結果の後順位にまわされてしまいますので注意が必要です。

※ スпамにならないように注意！

キーワードをタイトルタグやH1タグに詰め込むわけですが、このときに注意しなければならないのが、「不自然にならない程度に」キーワードを混ぜていくということです。例えば、こんな感じにしたらどうなるか？

<h1>テスト試験テスト試験テスト試験テスト試験テスト試験テスト試験テスト試験</h1>

これをやると、「検索エンジンスパム」と認定され一気に順位が落ちます。最悪、検索エンジンからドメインごと排除されてしまうということにもなりかねません。

不自然な繰り返しは避けましょう。

次に、H1 タグ以降の本文に進みます。

本文の中では、人間が読んで不自然にならない程度・・・だいたい、文章量の5%くらい、キーワードを織り込んでいきましょう。

また、小見出し(H2 タグ)を使用するのも有効です。

H2 タグを使用する際は、1 ページ内に2つくらいが適量です。あまり多すぎるとはいけません。多くても3つまでにしましょう。

そして気をつけていただきたいのが、H2 タグを使う場合、絶対にH1 タグより「下方」に持ってきてください。H1 タグは大見出し、H2 タグは小見出しなので、順番が逆になってしまうとHTML文法違反になります。

正しくないHTMLは検索エンジンから嫌われますので、注意してください。

ということで、可視的に説明しますと、

H1 タグ
文章
H2 タグ
文章
H2 タグ
文章
.....

と、このようなサイト構成になります。

また、H2 タグにも、しっかりとキーワードを入れてください。

(例)

<b>テスト、試験に合格しよう</b> (←H1 タグ)
------------------------------

当サイトでは、いかにしてテストや試験に強くなるか？土壇場で緊張しない呼吸法を解説します。
--

<b>テストで緊張しない方法</b> (←H2 タグ)
-----------------------------

私がテストのときに今までやってきたのは.....
--------------------------

<b>試験前日にやるべきこと</b> (←H2 タグ)
-----------------------------

実は、試験当日よりも前日の方が.....
----------------------

こうして、ページ内の文章に対するキーワード比率がだいたい5%くらいになるようにキーワード量を調整します。

多すぎても、少なすぎてもいけません。

このあたりの細かい調整というのは、「毎日HTMLをいじってアップしてみる → Google での順位変動で確認する」というコツコツとした作業が必要になってきます。

以上、サイトデザインを全く無視すれば、これで十分、上位表示が可能なサイトが出来上がります。

ただ、このだいたい5%くらいという感覚をつかむのが、たいへん難しいです。私も、やりすぎてスパミングフィルタを発動させてしまったことがあります。やりすぎないためにはどうしたらいいか？これを使いましょう。

<http://keyword-density.seo-tool.jp/>

これは、自分のサイト内でどのような言葉が使われているかをカウントしてくれる、ものすごく便利なツールです。絶対にお気に入りに加えておきましょう。ライバルサイトと比較をしながら、キーワードの数を調整していきましょう。

以上が、SEOの第一歩、「キーワードマッチ」という作業です。場合によっては、この作業だけで上位に表示されることもあります。

## ■ SEOに適したサイトデザイン

Google の場合、あまりサイトデザインにこだわる必要はありません。

ページがどのような形であれ、HTML構文違反さえしていなければ大丈夫です。

構文違反とは、H2タグがH1タグの前にくる、というような不自然なHTMLのことです。自然であれば、Google は大丈夫です。

ただ、Yahoo!はサイトデザインを結構重視してきます。

では次に、Google SEO のもう一つの柱である、リンクポピュラリティの上げ方について、伝授していきましょう。

## Google 対策SEO その2 リンクポピュラリティ

### ■ リンクポピュラリティアップのための戦略

Google では、一般的にページランクが高いサイトが上位に来ます。では、Google のロボットは、何を基準にしてページランクを算定しているのか？

この仕組みは結構単純で、一言で言うと「あなたのページが、外部からどれだけリンクされているか」です。

つまり、他人のサイトからあなたのサイトにリンクを貼ってもらうことで、リンクポピュラリティは上がっていきます。ページランクもそれにつれて上昇します。

ということは、「相互リンク」です。これをすれば、リンクポピュラリティは上がっていきます。すると検索結果の上位に来ます。単純ですね。

こまめに相互リンクをしている人というのは、相互リンク先からのアクセスなんて見込んでいません。**相互リンクをした結果の「検索エンジンからのアクセス」を見込んでいるのです。**

SEOで稼いでいる人は、みんなやっていることです。毎日毎日、とにかく相互リンクお願いのメールを出す。ものすごく地味です。退屈な作業です。できればやりたくない。

しかし、この作業から得られるリターンはあまりにも大きいものです。面倒がらずにやりましょう。また、リンクがもらえるのであれば、相互リンクだけでなく、利用できるものは全て利用します。

### ■ 効率のいい相互リンクの取り方

リンクポピュラリティアップの基本は相互リンクです。なぜなら、タダでできるからです。

私が使用している相互リンクお願いメールの雛形を後掲します。相互リンクを申し込むときは、このようなメールを送ります。ご自分に合わせて加工してください。

## 相互リンクお願いメール雛形

---

●●様

はじめまして、突然のメールにて失礼いたします。私、○○というサイトを運営しております、管理人の安田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○○

<http://www.~>

本日は、相互リンクをお願いしたく、メールを差し上げました。このサイトはの目的は…

そこで、同じコンテンツを公開されている●●様とぜひ相互リンクをしたいと思ひまして、メールを差し上げました。

勝手ではございますが、すでに●●様のサイトをリンクさせて頂きました。もしご迷惑であれば、このメールはこのまま放置してください。相互リンクにご了解いただけるようでしたら、

タイトル ○○

リンク先 <http://www.~>

紹介テキスト ○○に関するコンテンツを扱うサイトです。

にて、テキストリンクをご掲載ください。お手を煩わせるのは恐縮ですので、念のためソースを記載させていただきます。

```
<a href="http://www.~/ " target=_blank>○○</a>
```

以上、唐突なお願いではございますが、ご検討いただければ幸いです。よろしくお願ひ致します。

---

安田隆広（やすだたかひろ）

e-mail …Tel.Fax …

住所 …

---

気をつけるべき点は、こちらから先にリンクを貼るということと、身分をしっかりと明かすということです。これは礼儀です。せめて本名を明かさないと、相手も警戒して相互リンクに応じてくれませんので。

相互リンクメールをもらった相手は、あなたがどのような人なのかが最も気になるのです。逆の立場だったらそうですよね？

次に、相互リンクの相手を選ぶにも、基準があります。健康情報のサイトのページランクを上げるのに、全く関係のない旅行のページからリンクをもらっても、あまり効果はありません(このあたり、検索エンジンは賢くなってきています)。

ただ闇雲に相互リンクを申し込むのではなく、相手を選んでお願いしないといけない、ということです。では、効果が高い相互リンクとは？次の条件を満たしている相手が理想的です。

- ★相手のページランクが高いこと
- ★相手のページが、自分のページテーマと関係のあるテーマであること
- ★リンクをタイトルの文字列にしてもらうこと

また同一サイトでも、ページによってランクが違うので、よりページランクの高いページにあなたへのリンクを貼ってもらうと効果が高いです。

ちなみに、リンクをタイトルの文字列にしてもらうというのは、

`<a href="http://～" target=_blank>テスト、試験のサイト</a>`

というように、`<a href="http://～" target=_blank>タグと</a>タグ`の間に、ページタイトルをはさんでもらわないといけない、ということです。バナーであるとか、

テスト、試験のサイトは`<a href="http://～" target=_blank>こちら</a>`

のように、ページタイトルがそのままリンクになっていない場合はリンクのパワーは半減してしまいますので注意が必要です。

相手が相互リンクに了解してくれたら、お礼のメールを出しておきます。

あとは、この作業をひたすら繰り返すのです。目途としては、「100件相互リンク」を得られるようにがんばってください。

## ■ 効率のいい外部リンクの取り方その2

また、ページランクの高いページからリンクをもらえると、自サイトのページランクも大きく上昇します。ページランクの高いページは、たいてい、Yahoo!登録サイトか、あるいはDMOZ登録サイトになっています。

DMOZ

<http://dmoz.org/World/Japanese/>

ヤフーやDMOZ自体のページランクが高いので、そこからリンクされているサイトも自然とページランクが高くなるからです。

あるいは、Google でキーワード検索をかけて相互リンク先を探す、というのもあります。

Google で上位に来ているサイトはSEOを好んでしている人ですので、自サイトのSEOに役立つ相互リンクは歓迎してくれることが多いのです。

また、「●●リンク集」というリンク集を検索エンジンで探し出して、そこに掲載しているサイトに当たってみるのもいいでしょう。リンク集に掲載されているサイトは、相互リンクを歓迎する傾向にありますので、やりやすいからです。

さて、リストアップしたら、まずは自分から相手に先にリンクをはりましょう。これは最低限の礼儀です。そして、雛形のようなメールを送ってみてください。

## ■ ページランクの仕組み

ページランクというものは、リンク元のページから均等にランク供給がされます。

これはどういうことかという、例えばAというページがあり、そのページランクが4だったとしましょう。そこには100個のリンクがあります。方や、Bというページは同じくページランク4ですが、そこには10個しかリンクがありません。

そうすると、あなたがAというページからリンクをもらった場合、あなたに供給されるページランクは100分の4で0.04ですが、Bというページからリンクをもらった場合、あなたに供給されるページランクは0.4になります。

つまり、同じページランクでも、10倍の差があるということです。

リンクをもらう場合には、できるだけリンク数の少ないページからリンクをもらうと効果的です。

## ■ 禁止事項

最後に、検索エンジン対策をするにあたって、禁止事項をお伝えします。

### ★ フレームページは使ってはいけない

フレームを使ってホームページを作っている方は、すぐさま作り直してください。

すぐさま、です。フレームページは、百害あって一利なし、です。

難しい説明はここでは避けますが、Google が読み込んでくれない可能性があります。

そんなことになったら、一大事ですよ。フレームページは使わないようにしましょう。

以上で、Google 対策はおしまいです。

たったこれだけ？という印象をお持ちかもしれませんが、たったこれだけです。

話をまとめましょう。

- ① HTMLを最適化する
- ② 相互リンクを100件取る(Yahoo!登録サイトを中心に)

以上です。

※ ここに書かれている内容くらい知っている、でも上位表示されないという方へ。SEOの知識が人一倍あるのに上位表示されないのは、圧倒的に被リンク数が足りないからです。最低 100 は必要だと考えてください。

さて、いかがでしたか？「SEO」なんて横文字が並んでいて難しそうに聞こえますが、なんてことはありません。

テキストマッチ+リンクポピュラリティ

このふたつさえしっかりしていれば、Google では上位表示されます。

特に、リンクポピュラリティは重要です。SEOは相互リンクが命です。ぜひがんばってください。

より強力な SEO 技術を知りたい方は、こちらのサイトをご覧ください。

アフィリエイトパーフェクトマニュアル

<http://www.afr8.jp/manual.html>

最後までお読みくださいますとありがとうございます。

安田隆広

2006年5月 発行

編者 安田隆広

監修者 安田隆広

発行人 FP 教育事務所

発行 FP 教育事務所

〒556-0015 大阪府大阪市浪速区敷津西 1-3-24

TEL 06-6632-8832 fax 06-6632-8832

本書に登場するサービス名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。本書では™マークや®マークは明記していません。また掲載されている URL は2006年5月現在のものです。